

# 防災重点農業用ため池における耐震対策により 決壊による浸水被害を防止する

3か年緊急対策

災害時の効果発揮事例

概要: 令和6年1月1日の能登半島地震では中能登町で震度6弱を観測したが、事前に耐震補強を実施していた武部新池に損傷等は生じず、ため池決壊による被害を防止した。

対策名: 29 ため池に関する緊急対策<3か年緊急対策>【農林水産省】

■ 実施主体: 石川県

■ 実施場所: 石川県鹿島郡中能登町

■ 事業概要:

平成29年度に、武部新池(防災重点農業用ため池)の堤体の耐震性が不足することが判明したため、押え盛土工法による耐震補強を実施した。

■ 事業費: 約4,370万円(令和元年度～令和2年度)  
(うち3か年緊急対策 約4,370万円)

■ 災害の外力、被害と効果:

当該ため池は水田に用水を供給するための地域の重要な水源である一方、堤体下流には人家や国道が存在し、決壊した場合の想定被害面積は25.7ha、想定被害額は約5,300万円に上る。

令和6年1月1日の能登半島地震では、中能登町で震度6弱を観測したものの、耐震対策を実施したことにより、当該施設に被害はなく、ため池決壊による被害の防止に寄与した。

